

日程表・プログラム 第4会場（大会議室L）

9:50～10:50		ポスターP2		
		座長	済生会宇都宮病院 栃木県医師会塩原温泉病院	石川 恭平 坂口 裕介
P2-1	特別養護老人ホーム入所高齢者における体組成成分分析で計測される指標とADL変化との関連 -多施設コホートでの検討-	国際医療福祉大学大学院	高山 綾伽	
P2-2	通所リハビリテーションにおけるアイフレイルとVR酔いの関係	国際医療福祉大学塩谷病院	西森 和樹	
P2-3	レジスタンストレーニング中のMES使用による変化の検討	国際医療福祉大学	伊藤 晃洋	
P2-4	筋硬度計測(Shear Wave Speed)のプローブ軸方向は結果に影響する	国際医療福祉大学	屋嘉比 章紘	
P2-5	遠隔心臓リハビリテーションの試験運用におけるアンケート調査 ～課題と展望～	獨協医科大学病院	水嶋 優太	
P2-6	離床時の頻脈・徐脈と姿勢変化による血圧低下が遷延し離床に難渋したが、HADを回避できた症例	国際医療福祉大学病院	細山 莉瑚	
P2-7	複数の内部障害を併存した大腿切断患者に対する義足作成と理学療法介入の一例	足利赤十字病院	清水 祐輔	
P2-8	行動変容ステージに着目した心不全療養指導がセルフケアの定着に寄与した症例	国際医療福祉大学病院	斎藤 直哉	
P2-9	Ⅱ型糖尿病を有する 廃用症候群入院患者への介入報告	リハビリテーション翼の舎病院	湯澤 宏樹	
P2-10	褥瘡治癒促進に対して交流型微弱電流刺激を行った取り組み	とちぎメディカルセンターとちのき	小林 史果	

11:00～11:50		ポスターUs(学生セッション)	
		座長	菅間記念病院
		介護老人保健施設	マロニエ苑
		足利赤十字病院	高澤 寛人
			柴 隆広
			川田 竜也
Us-1	地域高齢者の歩行イメージ時間と実測時間の違い	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	谷口 紗雪
Us-2	若年成人のロコモティブシンドロームは主観的well-beingと小学校の外傷歴と関連する	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	井上 岳志
Us-3	地域在住高齢者と理学療法学生における認知症の知識と態度の比較	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	松尾 壮朗
Us-4	栃木県がん拠点病院のDPCデータから調査した周術期消化器がん患者に対するリハビリテーションの実施状況と特徴	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	中山 晃孝
Us-5	化学療法を受けた消化器がん患者のリハビリテーションの実施状況と実施者の特徴 —DPCデータを用いた実態調査—	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	橋本 充理
Us-6	地域在住高齢者における階段の使用割合と歩行速度との関連	国際医療福祉大学保健医療学部 理学療法学科	杉森 瑠奈
Us-7	言語聴覚学科の学生の社会活動の参加の実態と参加を志向する要因の検討	国際医療福祉大学保健医療学部 言語聴覚学科	宮崎 優奈

13:00～14:00		ポスターP3	
	座長	芳賀赤十字病院 石橋総合病院	山下 翔 斎藤 裕三
P3-1	座位姿勢に対する意識を把握するためのアンケート調査	鹿沼整形外科	亘 高史
P3-2	介護予防事業参加高齢者を対象としたロコモーショントレーニングによる運動介入の効果:前後比較試験	国際医療福祉大学塩谷病院	吉田 一樹
P3-3	Mini-BESTestを用いた地域高齢者のバランス機能の実態把握とその活用の試み	菅又病院	小林 祐介
P3-4	金属インプラントを有する患者におけるSMI,PhAへの影響	栃木県医師会塩原温泉病院	湯田 みゆき
P3-5	距骨骨髄浮腫による荷重時痛と足関節背屈制限を呈した症例 超音波療法と徒手療法を組み合わせた介入	新上三川病院	石橋 和明
P3-6	人工股関節全置換術後の腰部痛に着目した一例	新上三川病院	小島 光
P3-7	小転子を伴う大腿骨転子部骨折の患者様における独歩獲得への介入	新上三川病院	片庭 依吹
P3-8	左脛骨高原骨折後の歩行再獲得に難渋した症例	新上三川病院	飯塚 雅治
P3-9	BHA術後に股関節機能低下が脚長差を助長していた症例	佐藤病院	吉澤 翔一郎
P3-10	立位姿勢に起因する膝関節伸展制限の改善がTKA後の長距離歩行時痛を改善した一症例	佐藤病院	松井 愛音

14:00～14:50		ポスターO4	
		座長 新小山市民病院 にしなすの総合在宅ケアセンター	上岡 克好 佐々木 由佳
O4-1	運転再開と家事の獲得に向けてADOCとMTDLPを活用しチームで介入を行った症例 新宇都宮リハビリテーション病院		大木 彩絵
O4-2	「歩きたい」の先にある「想い」を支援に繋げた一症例 —生活行為目標共有シートによるIADL支援の質的变化— 新上三川病院		寺尾 博幸
O4-3	意味のある作業に向けた意思の可視化と協働的支援の実施 —MTDLPと生活行為目標共有シートを併用した復職支援の一例— 新上三川病院		中野 菜々美
O4-4	殻に籠った想いを開いて ～MTDLPとMOHOが導く潮干狩りへの道～ 新上三川病院		堀川 拓哉
O4-5	頸髄損傷患者における在宅復帰に向けた介入 —生活行為向上マネジメントと作業遂行6因子分析ツールを併用した事例— リハビリテーション翼の舎病院		岡 宏樹
O4-6	多発骨折患者の入院生活にて価値ある作業とは異なる行為の遂行によって作業機能障害の軽減がみられた事例 獨協医科大学日光医療センター		廣瀬 開
O4-7	犬咬傷にて機能障害が残存した事例に対してADOCとCAODを用いた新たな生活に向けた外来作業療法 獨協医科大学日光医療センター		今高 久
O4-8	生活行為向上マネジメントのもと合意した目標を明確にでき趣味の再開へ繋がった一例 新上三川病院		石嶋 友香子
O4-9	PEOモデルを活用し”してみたい作業”を再構築できた一症例 新上三川病院		羽賀 武蔵
O4-10	人間作業モデルと生活行為向上マネジメントの併用による病棟内生活における他職種連携 新上三川病院		柘植 泰成